

H F S P第11事業年度長期フェローシップ助成対象者（仮訳）

脳分野

名前	国籍	現所属	受入先	研究テーマ（指導研究者）
1 GRILL-SPECTOR Kalanit	イスラエル	ウァイツマン科学研究所	イスラエルマサチューセッツ工科大学	米 急速な対象物認知：神経面と行動面を統合したアプローチ (Nancy KANWISHER)
2 BRADKE Frank	独	EMBL	独 カリフォルニア大学	米 マウスの軸索正中線交差および分岐におけるRobo-1とRobo-2の役割 (Marc TESSIER-LAVIGNE)
3 NAKAGAWA Terunaga	日	東京大学	日 マサチューセッツ総合病院	米 樹状脊柱形成を促進する分泌要素の浄化 (Morgan SHENG)
4 SATTLER Rita	独	トロント大学	加 ションス・ホプキンス大学医学校	米 中枢神経系シナプスのTrkB受容体の細胞的局在性の分子的機構 (Richard L. HUGANIR)
5 RYU Soojin	韓	カリフォルニア大学バークレー校	米 フライブルク大学	独 セブライフィッシュのドーパミン生成体系の発達および機能 (Wolfgang DRIEVER)
6 YARON Avraham	イスラエル	ヘブライ大学	イスラエルカリフォルニア大学	米 セマフォリン3A情報伝達：軸索誘導時の信号変換 (Marc TESSIER-LAVIGNE)
7 FIORILLO Christopher	米	オレゴン健康科学大学	米 フリブル大学	スイス 条件付き刺激によるドーパミン神経の活性 (Wolfram SCHULTZ)
8 HERRERA Eloisa	西	国立バリオテクノロジーセンター	西 コロンビア大学	米 視神経交差形成時の網膜神経節細胞の特定の機構 (Carol A. MASON)
9 DORRIS Michael	加	クィーンズ大学	加 ニューヨーク大学	米 選択的行動の神経的基盤 (Paul W. GLIMCHER)
10 GUERTIN Pierre	加	コペンハーゲン大学	デンマーク 地中海大学	仏 運動ニューロンの計画された細胞死と分化に関する新しい遺伝子 (Christopher HENDERSON)
11 ANGULO JARAMILLO Maria Cecilia	コロンビア	物理学・産業化学高等学校	仏 バドゥア大学	伊 神経活動制御におけるクリア細胞によるグルタミン塩酸放出の役割 (Tullio POZZAN)
12 OKUNO Hiroyuki	日	東京医科大学	日 ションス・ホプキンス大学医学校	米 シナプスの長期可塑性における活性制御遺伝子Arcの機能的分析 (Paul WORLEY)
13 GOOSSENS Jeroen	蘭	エラスムス大学	蘭 ワシントン大学医学校	米 リスサルの垂直眼球前庭屈折の可塑性 (Stephen M. HIGHSTEIN)
14 TSUNENARI Takashi	日	慶應義塾大学	日 ションス・ホプキンス大学医学校	米 苦味物質により活性化される回路の機能的な研究 (King-Wai YAU)
15 PERRAIS David	仏	CNRS	仏 オレゴン健康科学大学	米 超短波顕微鏡検査を用いてツマカエルの運動ニューロンを調べた場合に見られる個々のシナプス小胞の エキソサイトーシス (Wolfhard ALMERS)
16 PASTERKAMP R. Jeroen	蘭	オランダ脳研究所	蘭 ションス・ホプキンス大学医学校	米 膜内外セマフォリン情報伝達の分子的分析 (Alex L. KOLODKIN)
17 GAREL Sonia	仏	フランス国立衛生医学研究所	仏 カリフォルニア大学	米 腹前脳の「パターンング」と分化におけるレチノイド情報伝達の役割 (John L. R. RUBENSTEIN)
18 GANESH Chandramowli	印	印科学研究所	印 カリフォルニア大学バークレー校	米 シナプスの成長と可塑性を研究するための遺伝学および視覚的イメージによるアプローチ (Ehud Yeheskel ISACOFF)
19 RUGGIU Matteo	伊	西部地区総合病院	英 ロックフェラー大学	米 新生脳腫瘍性神経学的疾患の抗原の分析による神経RNA結合タンパクの機能的研究 (Robert B. DARNELL)
20 COHEN Dana	イスラエル	ヘブライ大学	イスラエルデューク大学メディカルセンター	米 正常なマウスおよび遺伝子組み換えを行ったマウスにおける視床皮質の係蹄と小脳の長期的同時記録 (Miguel A. L. NICOLELIS)
21 FLORESCO Stan	加	ブリティッシュ・コロンビア大学	加 ビッツバーク大学	米 海馬前頭葉前部皮質の可塑性とドーパミンによる調整：電気生理学的・行動的分析 (Anthony A. GRACE)
22 HOSOYA Toshihiko	日	国立遺伝学研究所	日 ハーバード大学	米 視覚刺激の統計学的構造への網膜網状組織の適応 (Markus MEISTER)
23 ROY Peter	加	トロント大学	加 スタフォード大学	米 発生時特別な細胞に現われる全遺伝子を研究するための機能的およびゲノムに関する技術の発明 (Stuart K. KIM)
24 LEVKOWITZ Gil	イスラエル	ウァイツマン科学研究所	イスラエルマサチューセッツ総合病院	米 位置的クローニングによりドーパミンニューロン発生を管理する遺伝子の特定 (Mark C. FISHMAN)
25 STRIDE Brenda	加	クィーンズ大学	加 独逸リサーチセンター	独 学習と記憶における糖質コルチコイド受容体および無機コルチコイド受容体の役割 (Gunther SCHUTZ)
26 FISAHN Andre	独	オックスフォード大学	英 NICHD	米 in vitro海馬のカンマ周波数振動における阻害介在ノードの役割 (Christopher McBAIN)
27 SIGRIST	独	マックス・プランク協会	独 カリフォルニア大学バークレー校	米 ショウジョウバエの神経筋結合部のシナプス可塑性の調和を取る新しい要素の特定

H F S P 第 1 1 事業年度長期フェローシップ助成対象者（仮訳）

脳分野

Stephan 28 ZHANG Xiao-Hui	中	上海生理学研究所	中	カリフォルニア大学サンディエゴ校	米	(Corey S. GOODMAN) ネトリンに誘発される軸索誘導におけるカルシウムの情報伝達 (Mu-Ming POO)
29 UKA Takamori	日	大阪大学	日	ワシントン大学医学校	米	高画質立体鏡による深度識別における皮質領域MTの役割 (Gregory C. DeANGELIS)
30 CUNNINGTON Ross	豪	ウィーン大学	オーストリア	神経学研究所	英	神経運動制御過程への管理された注意の影響についてfMRIとERPを組み合わせた研究 (John Christopher ROTHWELL)
31 VERHEIJEN Mark	蘭	エトブレイト大学	蘭	ソーク研究所	米	シユウ'アン細胞分化の制御 (Greg LEMKE)
32 MANN Fanny	仏	リヨン大学	仏	ケンブリッジ大学	英	網膜被蓋突起発生におけるEph受容体リ'カンド、EフリンB1の役割 (Christine E. HOLT)
33 HIROTA Junji	日	東京大学	日	ロックフェラー大学	米	カルシウムイオン造像による嗅球における嗅覚作用物表示についての時間的空間的分析 (Peter MOMBAERTS)
34 MULLOR Jose	西	セウ'エロ'オチョア分子生物学協会	西	ニューヨーク大学医学校	米	脊椎動物中枢神経系発達におけるGli/Zicタンパク質機能の研究 (Ariel RUIZI ALTABA)
35 GU Feng	中	シュ'ネ'ウ'大学	スイス	オレゴン健康科学大学	米	タンパク質リ'ン酸酵素2A(PP2A)による薬物受容体の再感作とトラフィッキングの制御 (Gary THOMAS)
36 MAK Ho Yi	中	王立癌研究基金	英	マサチューセツ総合病院	米	C. イレ'カ'スにおける睡眠の温度調節に関する新しい遺伝子の特定 (Gary B. RUVKUN)
37 LEINEKUGEL Xavier	仏	フランス国立衛生医学研究所	仏	ラトカ'ス大学	米	空間的行動増進のラット海馬における個々の神経活動と網状神経活動の相互作用 (Gyorgy BUZSAKI)
38 DAVENNE Marc	仏	IGBMC	仏	コールドスプリングハーバー研究室	米	視覚系神経可塑性における活性化制御遺伝子の機能的分析 (Hollis T. CLINE)
39 SCHEPENS Benedicte	ベルギー	ル'ウ'アンカトリック大学	ベルギー	モンリオール大学	加	運動と状態における網状形成の役割 (Trevor DREW)
40 QUINSON Nathalie	仏	サンシ'エロ'ム大学科学部	仏	メルボルン大学	蘭	前脊椎神経節におけるシナプス活動の統合 (John B. FURNESS)
41 SPAFFORD J. David	加	カルガリー大学	加	アムステルダム自由大学	蘭	神経伝達物質放出部位でのカルシウムチャネルの特異的対象化の基盤となる分子的機構 (August SMIT)
42 GREZES Julie	仏	フランス国立衛生医学研究所	仏	ハーバードメディカルスクール	米	ヒトの活動の認知に関する阻害/刺激過程の探究 (Alvaro PASCAL-LEONE)
43 SPASSKY Nathalie	仏	サルサハリラ病院	仏	ロックフェラー大学	米	神経軸細胞繊毛：その特徴と機能 (Arturo ALVAREZ-BUYLLA)
44 LERCHNER Walter	オーストリア	国立メ'イ'カルリサーチ研究所	英	カリフォルニア工科大学	米	恐怖の条件付けに関する遺伝子のクローニング (David J. ANDERSON)
45 KARTEN Yashmin	蘭	アムステルダム大学	蘭	アリゾナ大学	米	空間的経験後のラット海馬の神経集合の再活性化：ストレスの効果 (Bruce MCNAUGHTON)
46 KAWAUCHI Shimakō	日	筑波大学	日	カリフォルニア大学	米	嗅覚器上皮の神経発生におけるレチ'イン酸情報伝達 (Anne L. CALOF)
47 LABRADOR Juan Pablo	西	国立バ'イ'オテクノロジーセンター	西	カリフォルニア大学バ'クレ'校	米	成長円錐誘導時の誘引/拒絶を管理する情報伝達の機構 (Corey S. GOODMAN)
48 SAKISAKA Toshiaki	日	大阪大学	日	スクリプス研究所	米	カルシウムイオン依存神経伝達物質放出におけるシナプス小胞融合でのRab3Aの生理学的役割 (William E. BALCH)